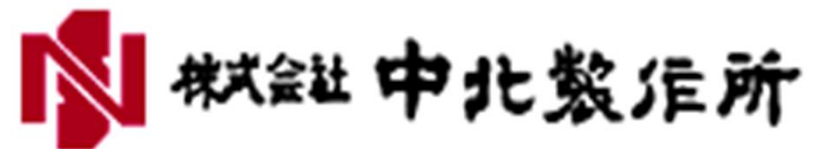




平成30年5月期第2四半期 決算説明会

東証2部 6496



<http://www.nakakita-s.co.jp>

平成30年1月31日 大阪



- I. 会社概要
- II. 平成30年5月期第2四半期 実績
- III. 平成30年5月期 見通し
- IV. 今後の展望
- V. コーポレートデータ



I . 会社概要



1.会社概要・沿革

■会社概要

会社名：株式会社中北製作所
代表者：代表取締役社長 中北 健一
所在地：大阪府大東市
設立：1937年5月
資本金：1,150百万円
事業内容：自動調節弁・バタフライ弁・
遠隔操作装置製造・販売
従業員数：343名(2017年11月末現在)



■沿革

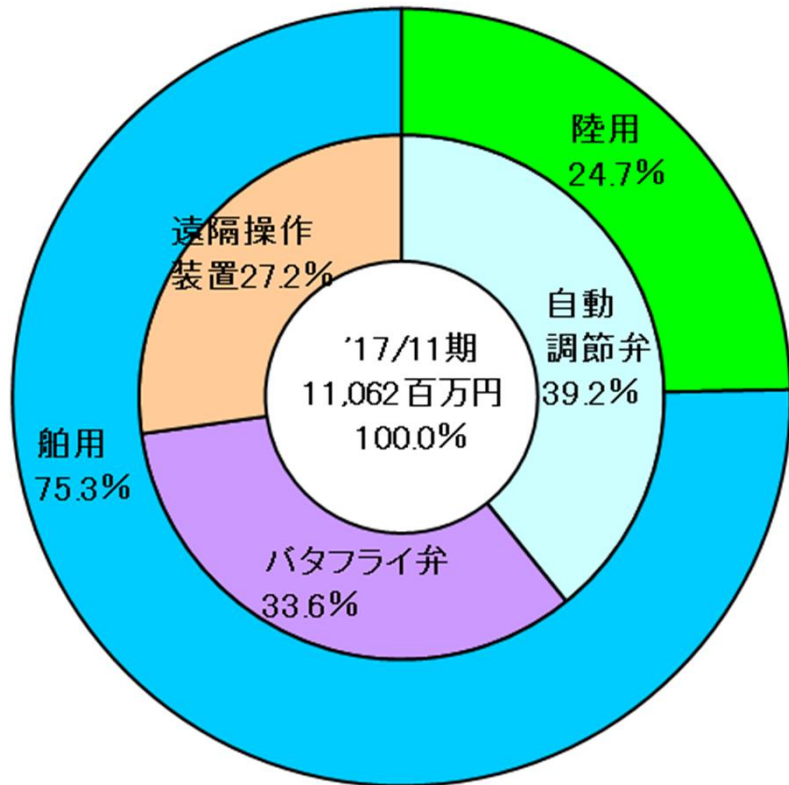
1930年 5月 初代社長 中北辨造が大阪市北区松ヶ枝町において自動調節弁の製造開始。
1937年 5月 大阪市北区今井町に移転し、株式会社中北製作所設立。
1939年 6月 大阪市城東区蒲生町に移転。
1960年11月 工場拡張のため大東市に工場建設(第1期工事)
1970年 5月 大東新工場完成、生産組織を新工場に集約する。
1971年12月 株式を大阪証券取引所市場第二部に上場する。
1972年12月 業務一体化のため本社組織を大東市へ移転する。
1994年 9月 ISO9001(国際品質保証規格)の認証を取得する。
2013年 7月 東京証券取引所と大阪証券取引所との現物市場の統合に伴い、東京証券取引所市場第二部に株式を上場。



2. 事業内容

当社は船舶や火力発電等の陸上プラント向けに、流体の自動制御システムとして下記の品種を全品受注生産により供給している

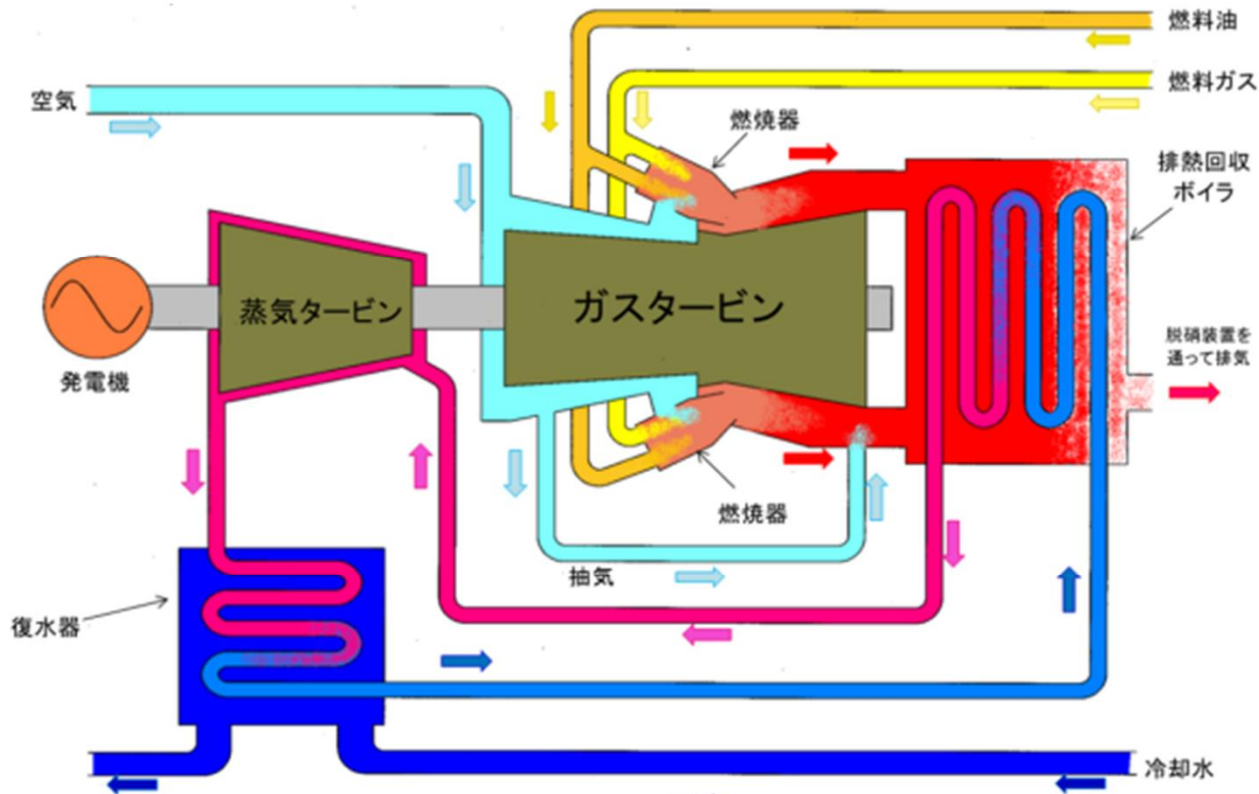
- ・製品クオリティも「高圧ガス」「ASME」「CEマーク」「船級認定」など、数々の公的認定で保証されており、高い品質が保たれている。
- ・製造工程においても、品質マネジメントシステムである国際規格のISO9001認証を取得し、設計から製造に至るまでの、トータルで高度な品質管理を実現している。



品種別用途

陸船別	用途		品 種		
			自動調節弁	バタフライ弁	遠隔操作装置
船舶	カーゴライン	タンカー		○	○
	バラストライン	全船種		○	○
	機関室	全船種	○		
陸用	発電プラント	火力発電	○	○	
		原子力発電	○	○	
		ガスタービン発電	○	○	
	その他	ケミカルプラント等	○	○	

ガスタービンコンバインドサイクル火力発電所用制御弁



燃料ガス制御弁



燃料ガス遮断弁



燃料ガス温度制御弁



コンプレッサ抽気弁



20連ボール弁



パージエアON/OFF弁



潤滑油圧力制御弁

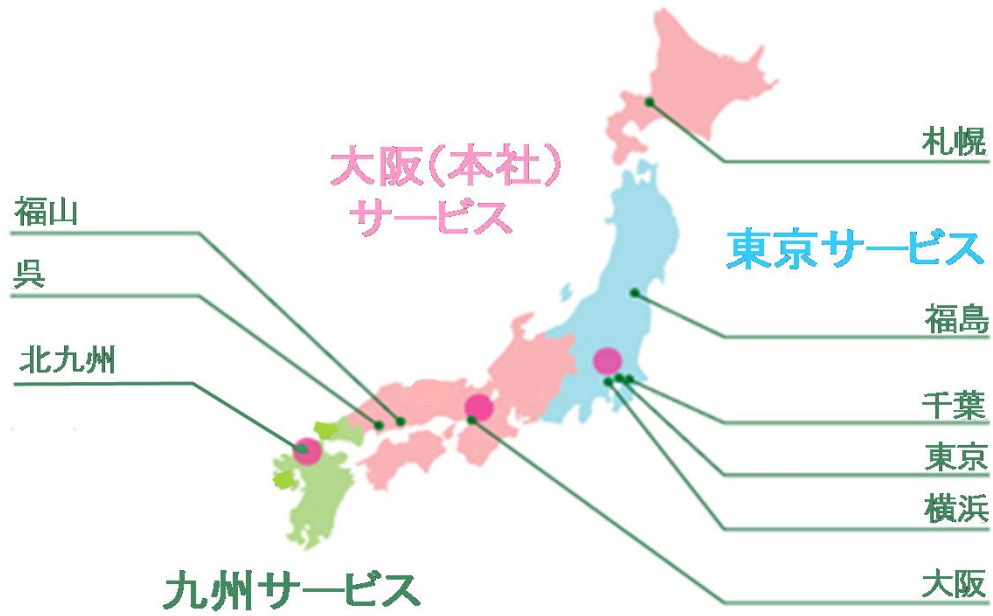


潤滑油温度制御弁

サービス網



国内サービス網



本社



海外サービス網



4.中北製作所の特徴と強み～まとめ～

- 1.高品質・多種多様なバルブを最新の生産技術と管理技術を駆使して生産
- 2.顧客のニーズに対応した完全受注生産
- 3.船舶用のバルブはハード面だけでなくコントロールシステムまでを一括生産
- 4.技術サポート、メンテナンスなど製品ライフサイクルの全てに対応
- 5.国内のほとんど全ての発電所に納入実績を持ち陸上発電プラントにも強み
- 6.省エネ環境船や次世代高効率発電システム等、急進する技術革新に対処し、顧客ニーズに即した製品開発
- 7.高度な品質管理体制に基づき、全製品の全数製品検査の実施並びに超低温・高温環境での実証試験環境の整備



Ⅱ. 平成30年5月期第2四半期 実績



1. 概要

単位：百万円、%、円

	16/11	17/11	前年同期比		17/11 期初計画	同期初計画比	
			増減	同率		増減	同率
売上高	10,770	11,062	292	2.7	11,000	62	0.6
営業利益	797	931	133	16.8	800	131	16.4
経常利益	885	1,034	149	16.9	880	154	17.6
中間純利益	593	701	107	18.1	610	91	15.0
※ 1株当たり中間純利益	32.20	38.04			33.08		
1株当たり配当金	10.00	12.00			12.00		
総資産	26,726	26,984					
純資産	20,036	20,968					

■売上高は、ほぼ計画通り。

■利益面に関しては、上期においては、当初想定より落ち込まず、営業利益、経常利益、中間純利益はそれぞれ同計画を上回った。

※当社は、平成29年12月1日を効力発生日として普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施しております。

当該株式併合を考慮しないで、1株当たり中間純利益を算定しています。

2. 生産・受注・受注残の推移

生産高 単位: 百万円、%

	16/11	17/11	前年同期比	
			増減	同率
自動調節弁	4,419	4,303	▲116	▲2.6
バタフライ弁	3,537	3,684	146	4.2
遠隔操作装置	2,754	2,988	234	8.5
生産高合計	10,711	10,975	264	2.5

受注高

	16/11	17/11	前年同期比	
			増減	同率
自動調節弁	4,468	3,965	▲503	▲11.3
バタフライ弁	2,287	3,848	1,561	68.3
遠隔操作装置	2,511	2,322	▲188	▲7.5
受注高合計	9,266	10,136	869	9.4

受注残

	16/11	17/11	前年同期比	
			増減	同率
自動調節弁	4,876	4,285	▲590	▲12.1
バタフライ弁	5,345	4,866	▲478	▲9.0
遠隔操作装置	4,544	3,900	▲643	▲14.2
受注残合計	14,766	13,053	▲1,713	▲11.6

■生産高(前年同期比2.5%の増)

生産高は、バタフライ弁が前年同期比4.2%、遠隔操作装置が同8.5%と増加し、全体では同2.5%の微増となった。

■受注高(同9.4%の増)

自動調節弁が前年同期比11.3%、遠隔操作装置が同7.5%と減少したが、韓国向けのタンカー向け製品の受注により、バタフライ弁が同68.3%と大幅に増加し、全体では同9.4%の増加となった。

■受注残(同11.6%の減)

新造船市況は低調で、陸上関連の受注環境も厳しい影響を受け、受注残高は前年同期比11.6%の減少となった。

3.部門別売上高

単位：百万円、%

	16/11	17/11	17/11		
			増減	同率	構成比
自動調節弁	4,444	4,337	▲106	▲2.4	39.2
バタフライ弁	3,557	3,713	156	4.4	33.6
遠隔操作装置	2,769	3,012	242	8.8	27.2
合計	10,770	11,062	292	2.7	100.0

単位：百万円、%

	16/11	構成比	17/11	17/11		
				増減	同率	構成比
陸用	2,907	27.0	2,731	▲176	▲6.1	24.7
船用	7,863	73.0	8,331	468	6.0	75.3
合計	10,770	100.0	11,062	292	2.7	100.0

- バタフライ弁が前年同期比4.4%、遠隔操作装置が同8.8%とそれぞれ増加したが、自動調節弁は同2.4%減少し、全体では同2.7%増加で前年同期並みの売上高となった。
- 船用は前年同期に比べ、468百万円増加(同6.0%増)したが、陸用は、176百万円減少(前年同期比6.1%減)し、全体では292百万円増加(同2.7%増)となった。



4. 地域別売上高

単位：百万円、%

	16/11	17/11	17/11		
			増減	同率	構成比
国内	8,587	8,757	170	2.0	79.2
韓国	543	669	126	23.2	6.1
中国(香港)	1,456	885	▲571	▲39.2	8.0
その他	182	749	567	310.5	6.7
合計	10,770	11,062	292	2.7	100.0
輸出比率	20.3	20.8	0.5		

- 韓国向けの船用関連が順調に推移し、前年同期比23.2%増加、シンガポール向けの船用関連の売上増加により、その他は大幅に増加となったが、中国向けは、同39.2%減少となった。
- 輸出比率は20.8%で同0.5%の微増。



5. 損益計算書

単位:百万円、%

	16/11		17/11			
		構成比		増減	同率	構成比
売上高	10,770	100.0	11,062	292	2.7	100.0
売上原価	8,996	83.5	9,139	143	1.6	82.6
売上総利益	1,774	16.5	1,922	148	8.4	17.4
販売費・一般管理費	976	9.1	991	15	1.5	9.0
営業利益	797	7.4	931	133	16.8	8.4
営業外損益	87	0.8	103	16	18.4	0.9
経常利益	885	8.2	1,034	149	16.9	9.4
特別損益	-	-	-	-	-	-
税引前中間純利益	885	8.2	1,034	149	16.9	9.4
法人税等	291	2.7	333	42	14.4	3.0
中間純利益	593	5.5	701	107	18.1	6.3

■売上高は対前年同期比2.7%の増加。

■利益面では、大型タンカー向け製品の販売増加により、営業利益は対前年同期比16.8%、経常利益は同16.9%、中間純利益は同18.1%の増加となった。



6. 貸借対照表

単位：百万円

	17/5	17/11	増減	主要増減要因
流動資産合計	21,249	21,839	590	
現金・預金	6,232	7,167	934	
売上債権	8,511	8,516	5	
棚卸資産	4,232	4,277	44	
その他	2,273	1,878	▲395	短期運用 ▲382
固定資産合計	5,107	5,145	37	
有形固定資産	3,017	3,062	44	減価償却 124 投資 185
無形固定資産	19	35	16	
投資その他の資産	2,070	2,046	▲23	長期運用 ▲20
資産合計	26,357	26,984	627	
流動負債合計	5,547	5,617	69	
仕入債務	3,517	3,705	187	
1年内返済長期借入金	900	900	0	
その他	1,129	1,011	▲118	
固定負債合計	330	399	68	
負債合計	5,878	6,016	138	
純資産合計	20,479	20,968	488	
負債・純資産合計	26,357	26,984	627	



Ⅲ. 平成30年5月期見通し



1. 概要

見込み

単位：百万円、%、円

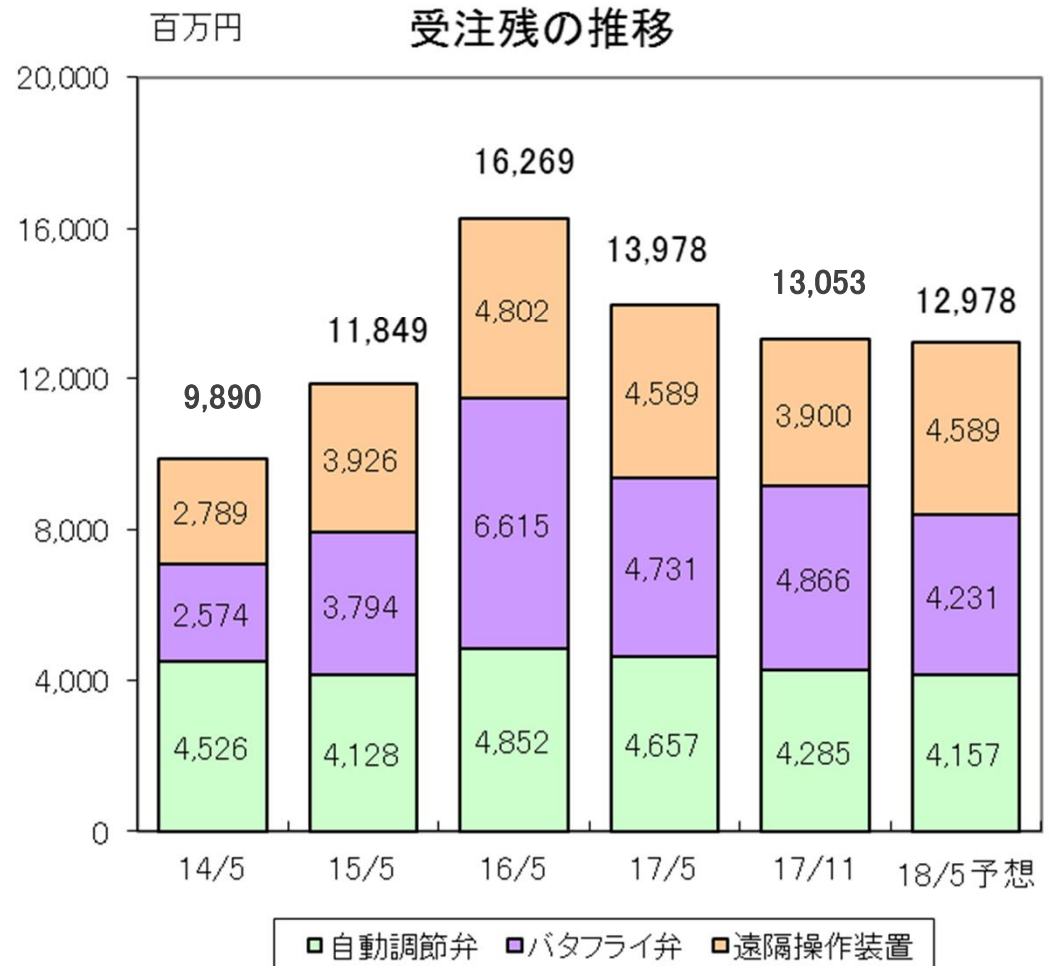
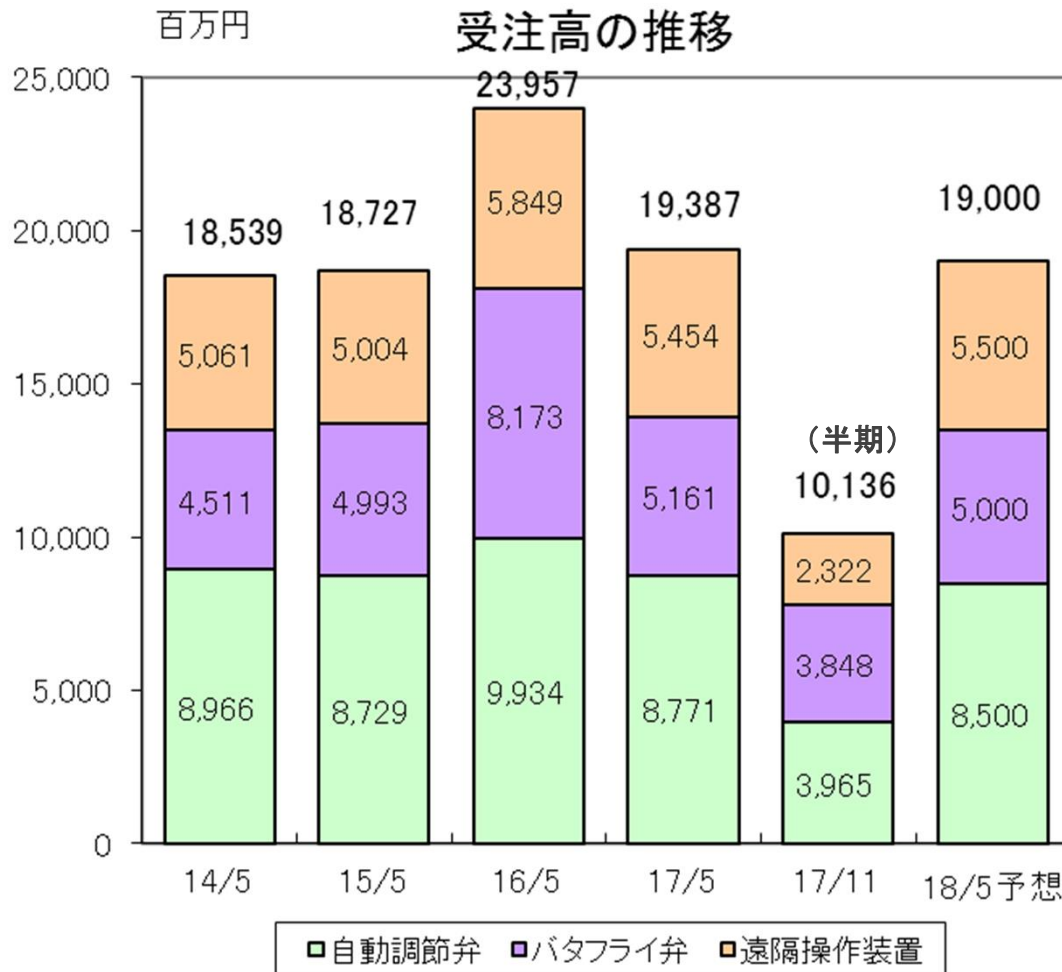
	17/5	18/5	前年同期比	
			増減	同率
売上高	21,678	20,000	▲1,678	▲7.7
営業利益	1,613	1,320	▲293	▲18.2
経常利益	1,774	1,480	▲294	▲16.6
当期純利益	1,203	1,020	▲183	▲15.2
※1 1株当たり当期純利益	326.22	276.58		
1株当たり配当金(中間)	10.00	12.00		
1株当たり配当金(期末)	18.00	—		
※2 1株当たり配当金(期末予想)	—	60.00		

- 新造船マーケット低調の影響もあり、売上高は200億円(前年同期比7.7%減)の計画。
- 利益については、タンカー向け製品の販売減少、船用関連の受注採算の悪化も見込んでいる。

※1 当社は、平成29年12月1日を効力発生日として普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施しております。前事業年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算定しております。

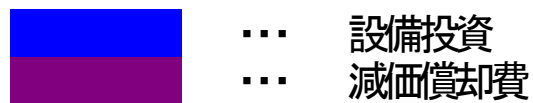
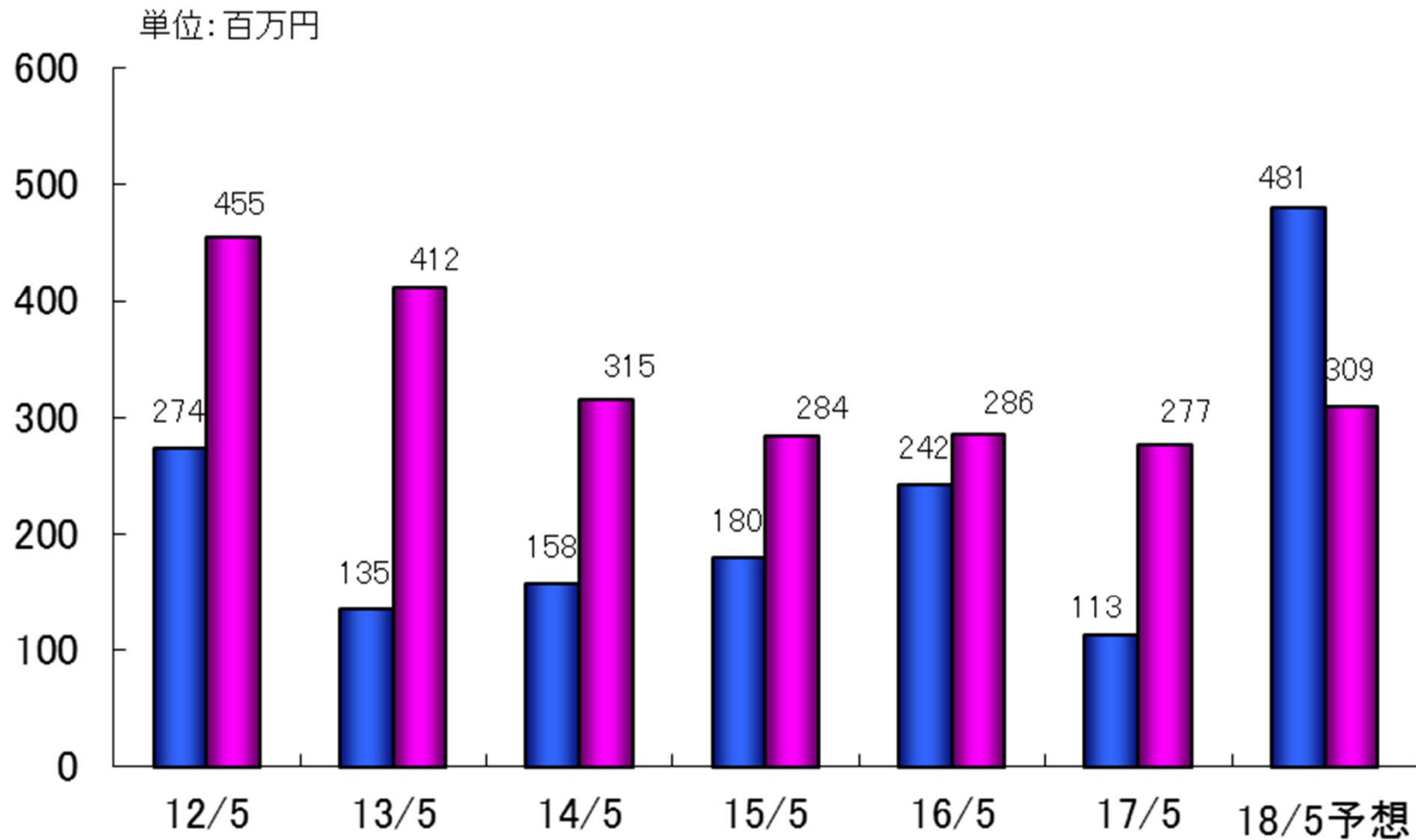
※2 18/5期の1株当たり配当金(期末予想)につきましては、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載しております。

2. 受注・受注残の見通し



■ 陸上関連の受注環境が厳しい状況にあるが、メンテナンス関連の部品の受注にも注力し、受注高190億を目指す。

3. 設備投資と減価償却費の見通し



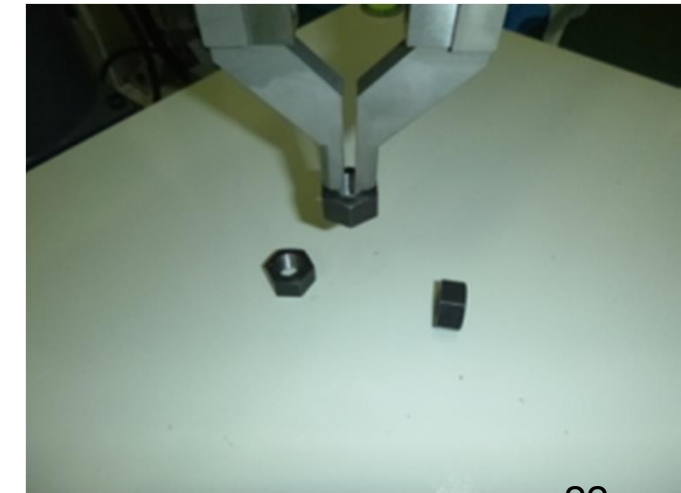
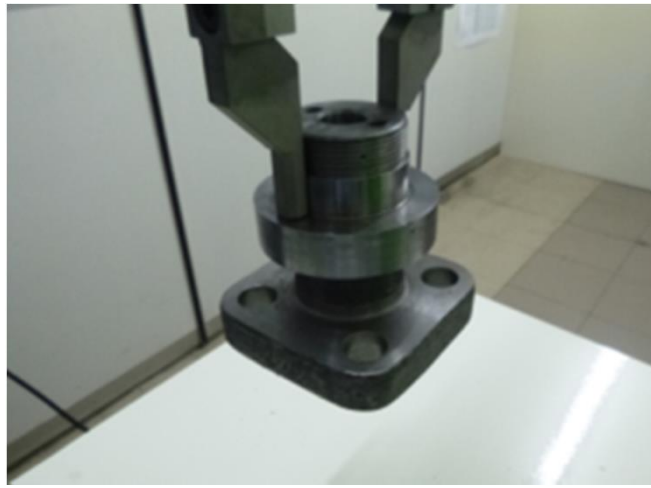
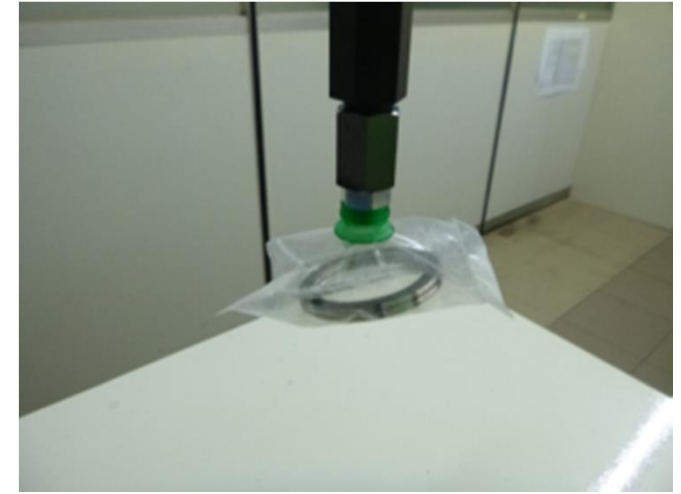
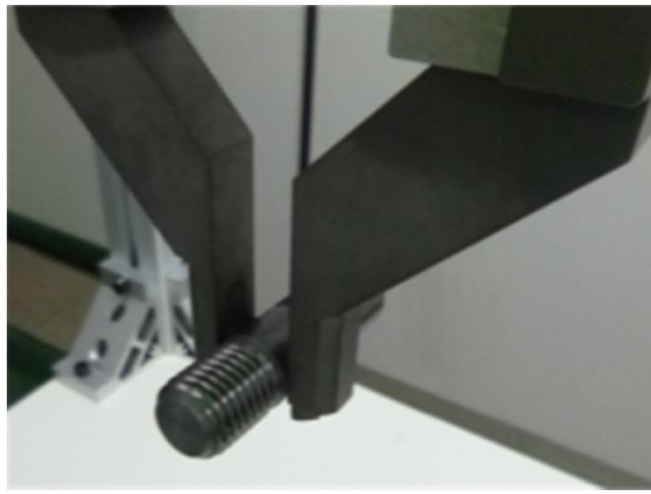


IV. 今後の展望

1. トピックス

①ロボットを利用した新しい生産システムの検討

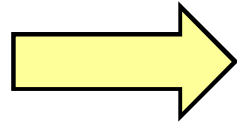
- ・個別受注生産のさらなる進化
- ・判別／把持／人と協働するための制御に関する技術開発



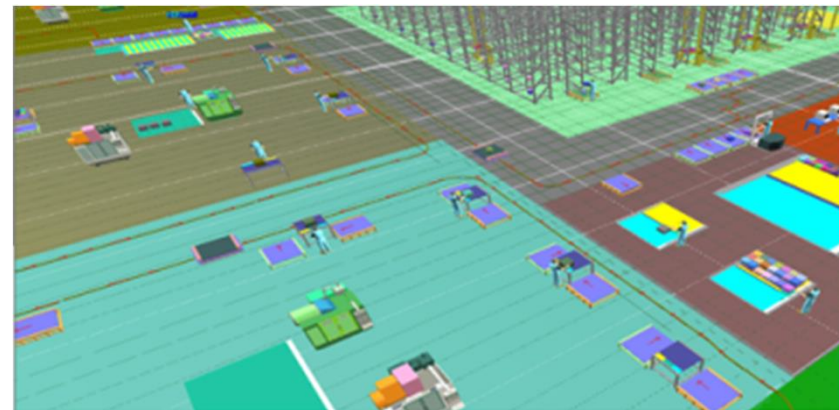
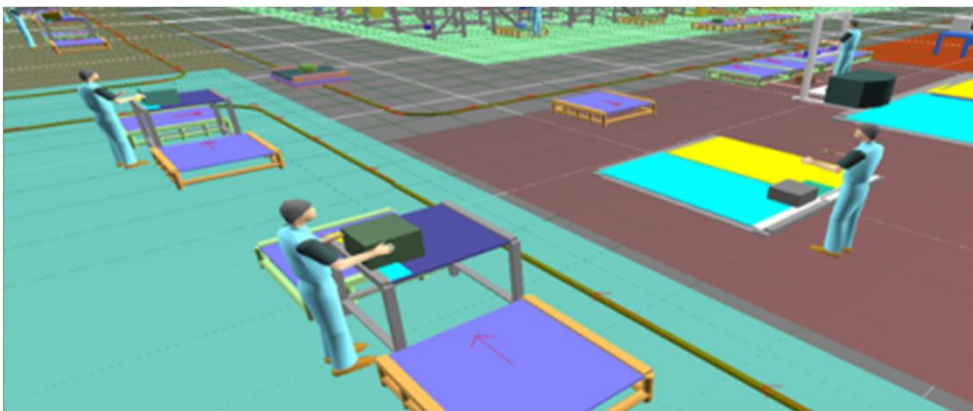
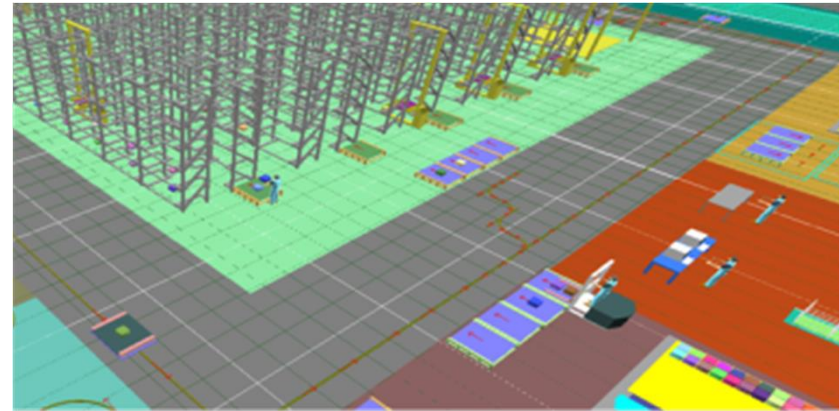
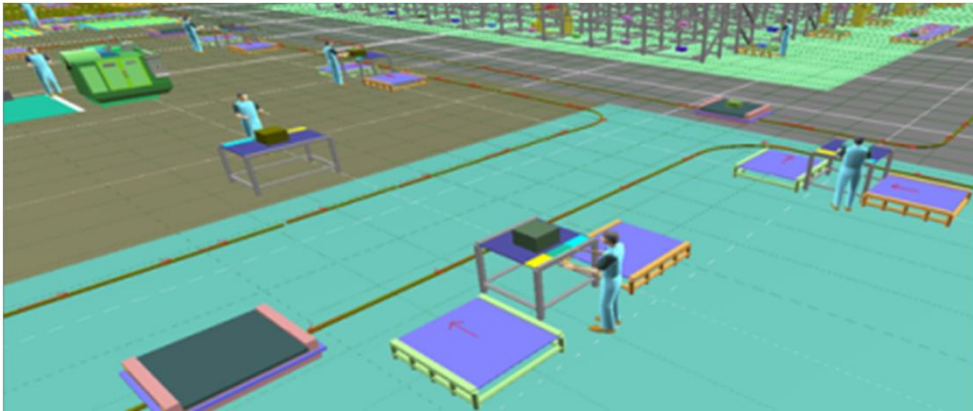
②物流システムの再構築を構想

物流費低減への取組み

- ・物流方式
- ・在庫方式
- ・在庫管理方法



物流シミュレーションで期待効果を確認

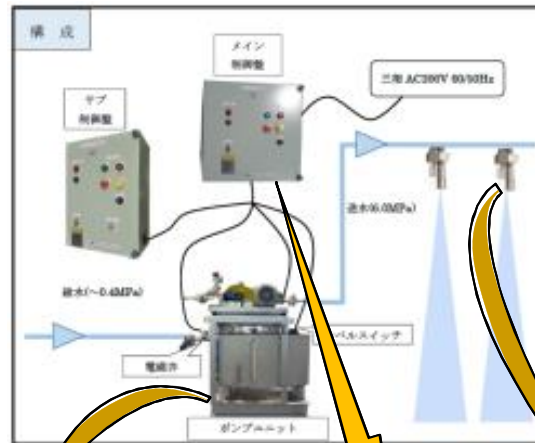


③生体運搬船用のミスト噴霧システムの開発・実用化

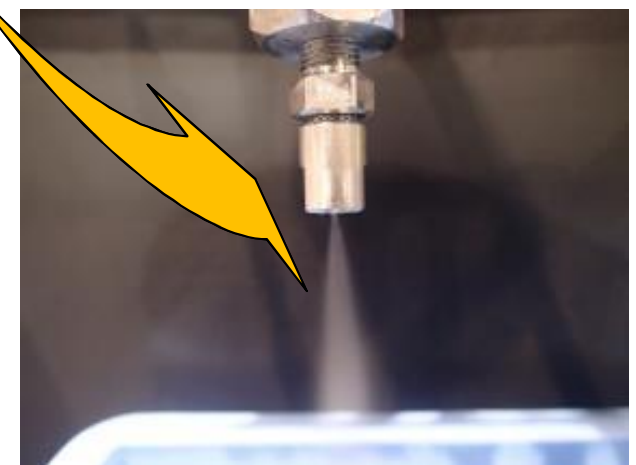
牛舎エリアの内部



冷却制御システムの概観



ノズルからの噴霧状況



2. 中長期的な経営戦略～

【当社の企業価値】

1. 熟練した技術を有する人的資産及び高度な品質管理体制に裏打ちされた高度な技術力・品質管理能力
2. 長年にわたる顧客との強固な関係
3. 創業以来、脈々と生き続ける「フロンティア・スピリット」(進取発展)

企業価値確保・向上への取組み

生産性向上活動

- ・継続的な製造強化のために生産性向上に関する改善への取組みを行い、変化への機敏な対応ができる体制づくり

原価低減活動

- ・品種ごとのコスト分析、設計や工法見直し等によるコストダウンへの取組み
- ・不適合・ムダの排除による原価低減

開発提案型の営業活動

- ・常にお客様とコミュニケーションを取りながら、他社より一歩先んじた提案のできる顧客ニーズに基づく開発提案型の企業を目指す

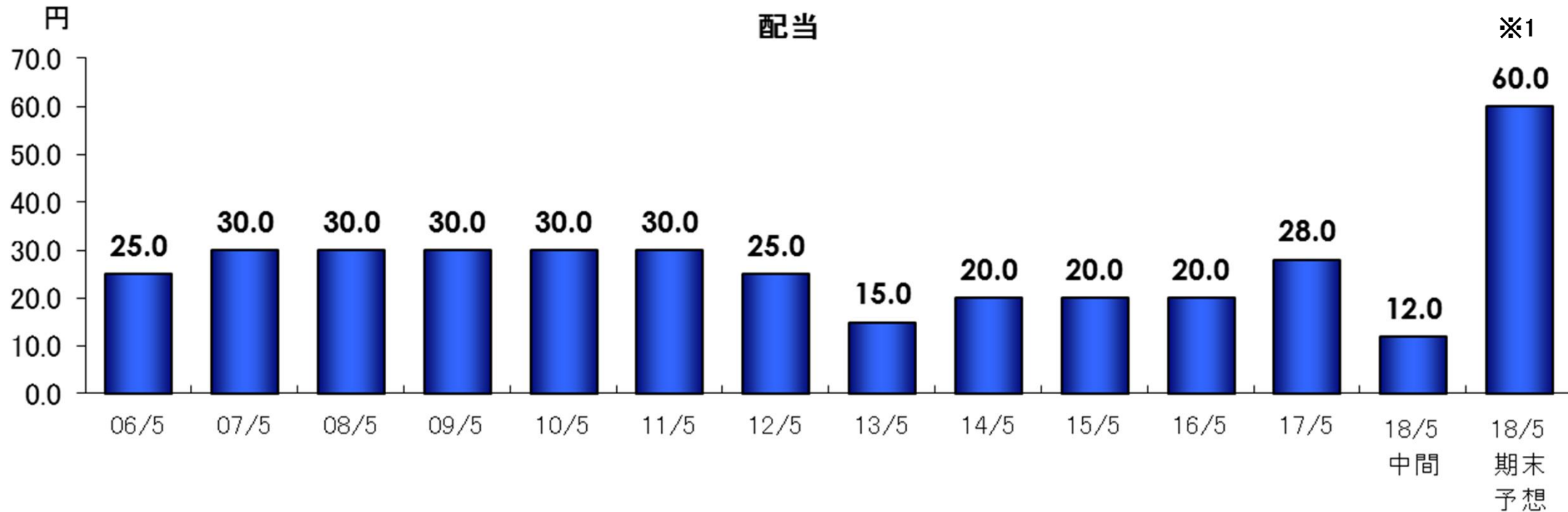
人材育成

- ・技能レベルアップと技能伝承

信頼されるものづくり企業としての勝残り



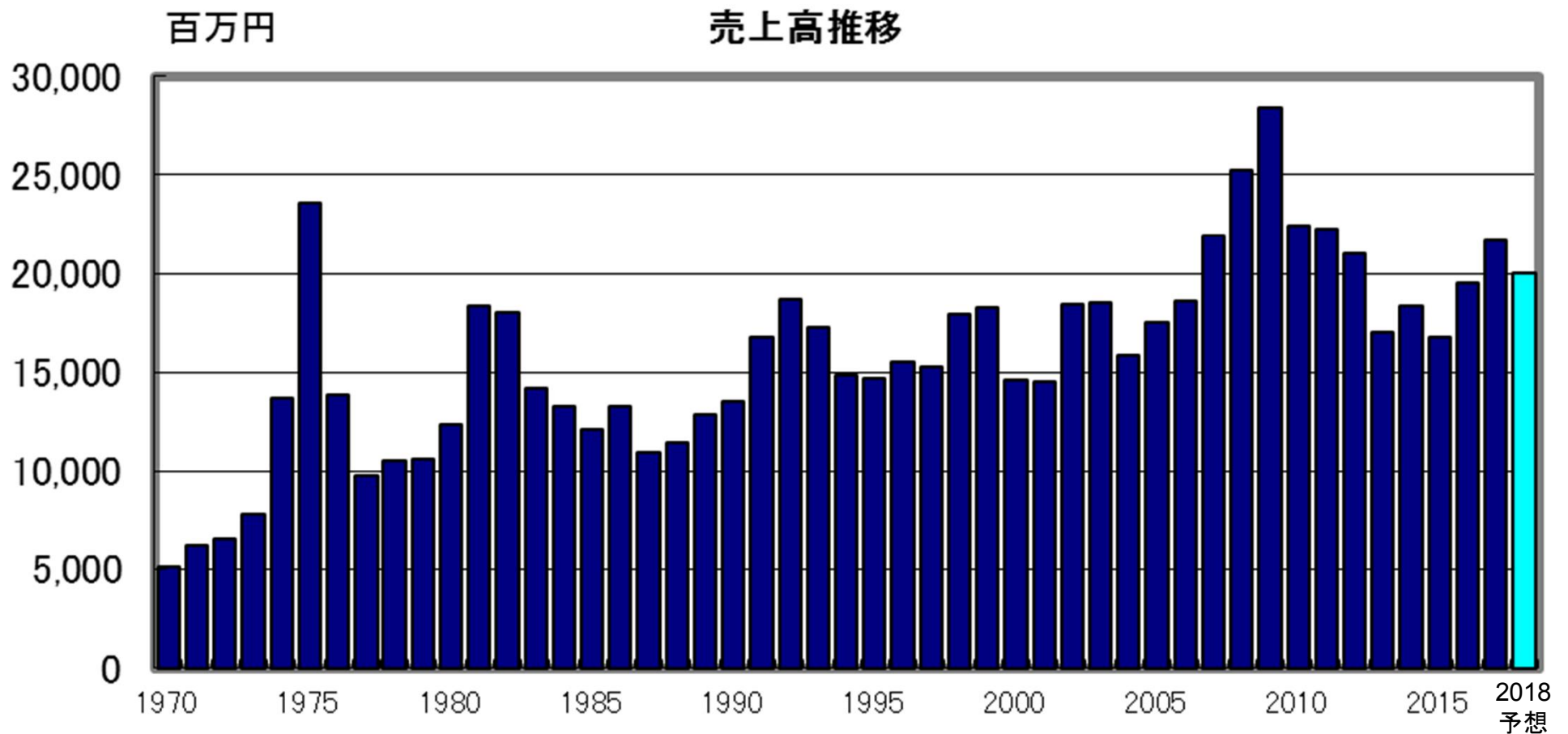
3.配当実績・予想



※1 当社は、平成29年12月1日を効力発生日として普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施しております。18/5期末予想の1株当たり配当金につきましては、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載しております。株式併合を考慮しない場合の18/5期末予想の1株当たり配当金は12円00銭となり、1株当たり年間配当金(予想)は24円00銭となります。

4. まとめ

■国内の景気は緩やかな回復基調にあるものの、当社の主要な受注先であります造船業界におきましては、新造船市況も低調で、陸上関連の受注環境も厳しい状況にあります。このような環境のなか、受注獲得に向けたきめ細かな営業活動に注力し、また、さらなる生産性向上活動に努め、計画の達成を目指してまいります。





V. コーポレート・データ



単位:百万円、%、円

	13/5	14/5	15/5	16/5	17/5	18/5予想
売上高	17,012	18,387	16,768	19,536	21,678	20,000
営業利益	588	1,349	780	1,121	1,613	1,320
営業利益率	3.5	7.3	4.7	5.7	7.4	6.6
経常利益	771	1,528	963	1,274	1,774	1,480
経常利益率	4.5	8.3	5.7	6.5	8.2	7.4
当期純利益	468	917	595	846	1,203	1,020
当期純利益率	2.8	5.0	3.6	4.3	5.6	5.1
総資産	23,828	25,298	25,346	26,646	26,357	
株主資本	18,456	18,976	19,024	19,241	20,075	
株主資本比率	77.5	75.0	75.1	72.2	76.2	
株主資本利益率	2.5	4.8	3.1	4.4	6.0	
1株当たり当期純利益	24.44	48.25	31.49	45.17	※1 326.22	※1 276.58
1株当たり配当金	15.00	20.00	20.00	20.00	28.00	※2

※1 当社は、平成29年12月1日を効力発生日として普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施しております。前事業年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算定しております。

※2 18/5期(中間)の1株当たり配当金は12円00銭、当該株式併合の影響を考慮しますと、18/5期(期末予想)の1株当たり配当金は、60円00銭となります。
株式併合を考慮しない場合の18/5期末予想の1株当たり配当金は12円00銭となり、1株当たり年間配当金(予想)は24円00銭となります。



単位:百万円

陸船別売上	13/5	14/5	15/5	16/5	17/5	18/5予想
陸用売上	5,992	5,905	5,542	4,893	5,580	5,500
船用売上	11,019	12,481	11,225	14,643	16,097	14,500
合計	17,012	18,387	16,768	19,536	21,678	20,000

品種別売上	13/5	14/5	15/5	16/5	17/5	18/5予想
自動調節弁	8,863	8,935	9,126	9,211	8,965	9,000
バタフライ弁	4,593	4,718	3,773	5,352	7,045	5,500
遠隔操作装置	3,555	4,733	3,868	4,973	5,667	5,500
合計	17,012	18,387	16,768	19,536	21,678	20,000

生産	13/5	14/5	15/5	16/5	17/5	18/5予想
自動調節弁	8,700	8,792	9,061	9,176	8,937	9,000
バタフライ弁	4,514	4,642	3,746	5,332	7,022	5,500
遠隔操作装置	3,487	4,657	3,840	4,954	5,648	5,500
合計	16,702	18,092	16,648	19,463	21,608	20,000

受注	13/5	14/5	15/5	16/5	17/5	18/5予想
自動調節弁	8,422	8,966	8,729	9,934	8,771	8,500
バタフライ弁	3,923	4,511	4,993	8,173	5,161	5,000
遠隔操作装置	3,309	5,061	5,004	5,849	5,454	5,500
合計	15,655	18,539	18,727	23,957	19,387	19,000

受注残	13/5	14/5	15/5	16/5	17/5	18/5予想
自動調節弁	4,494	4,526	4,128	4,852	4,657	4,157
バタフライ弁	2,781	2,574	3,794	6,615	4,731	4,231
遠隔操作装置	2,461	2,789	3,926	4,802	4,589	4,589
合計	9,737	9,890	11,849	16,269	13,978	12,978

・本資料は、ご参考のために株式会社中北製作所が独自に作成したものです。本資料に関する事項について貴社が意思決定を行う場合、内容によっては事前に貴社の弁護士、会計士、税理士等にご確認いただきますようお願い申し上げます。本資料中に、新聞その他の情報メディアによる報道、民間調査機関等による各種刊行物、インターネットホームページ、有価証券報告書及びプレスリリース等の情報が含まれている場合がありますが、株式会社中北製作所はそれらの情報を、独自の検証を行うことなく、そのまま利用しており、その正確性及び完全性に関して責任を負うものではありません。また、本資料のいかなる部分も一切の権利は株式会社中北製作所に属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願い致します。